

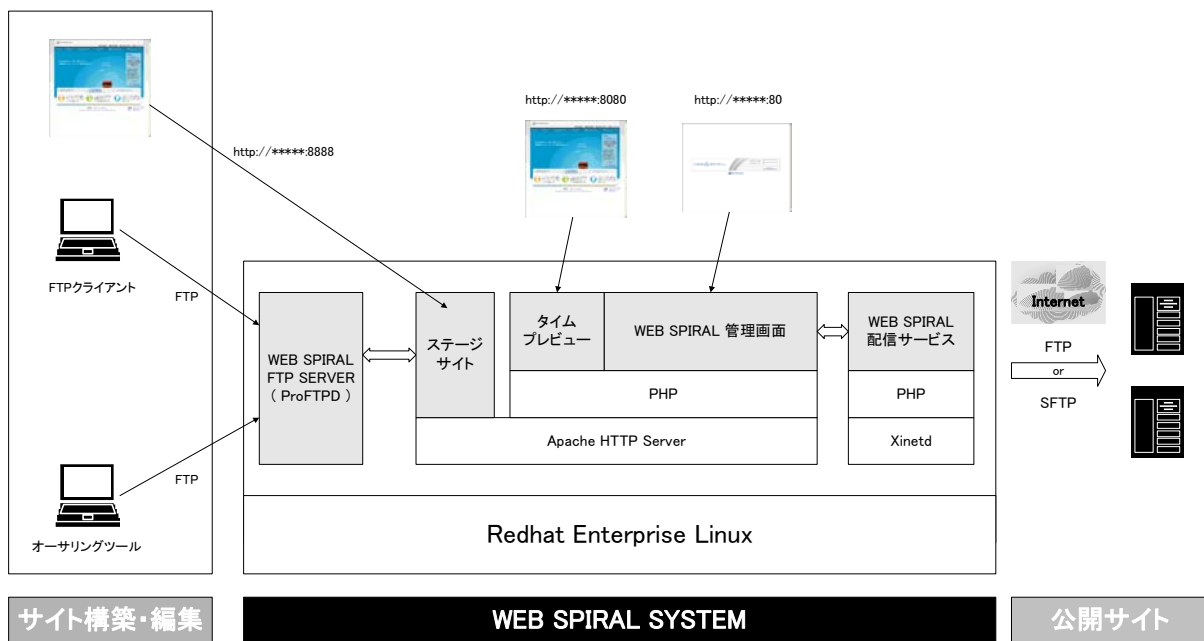
WEB SPIRAL 運用の手引き

(文書番号 NDWS-0002-02)

システム構成	3
WEB SPIRAL のシステム構成	3
ユーザ権限について	4
ユーザの種類	5
スーパーユーザとスタッフ	5
ファイル管理スタッフ	5
ファイルチーム管理スタッフ	5
ディレクトリ・ファイル構成	6
ミドルウェア用ファイル	6
共通ディレクトリ	7
ファイル管理	9
WEB SPIRAL FTP SERVER	10
環境設定	11
WEB SPIRAL 設定システムファイルについて	11
WEB SPIRAL 管理・設定ファイル	11
フォーマット形式	11
システム設定	12
WEB SPIRAL 配信サービス 設定ファイル	22
フォーマット形式	22
WEB SPIRAL FTP SERVER 設定ファイル	23
フォーマット形式	23
その他	27
WEB SPIRAL 配信サービスログ	28
データのバックアップとリストア	29
MySQL をご利用の場合	29
バックアップ方法	29
リストア方法	29
DB を止めてバックアップ・リストアする場合	30

システム構成

WEB SPIRAL のシステム構成



■ WEB SPIRAL FTP SERVER / ステージサイト

WEB SPIRAL FTP SERVER へは『FTP』にて接続することが可能です。

また、編集したファイルは『ステージサイト』にてブラウザより参照することが出来ます。

■ タイムプレビュー

タイムプレビューは今まで配信したサイトを確認するサイトです。現在のサイトだけではなく、過去にさかのぼって参照することも、これから配信する未来のサイトもブラウザより参照することが出来ます。

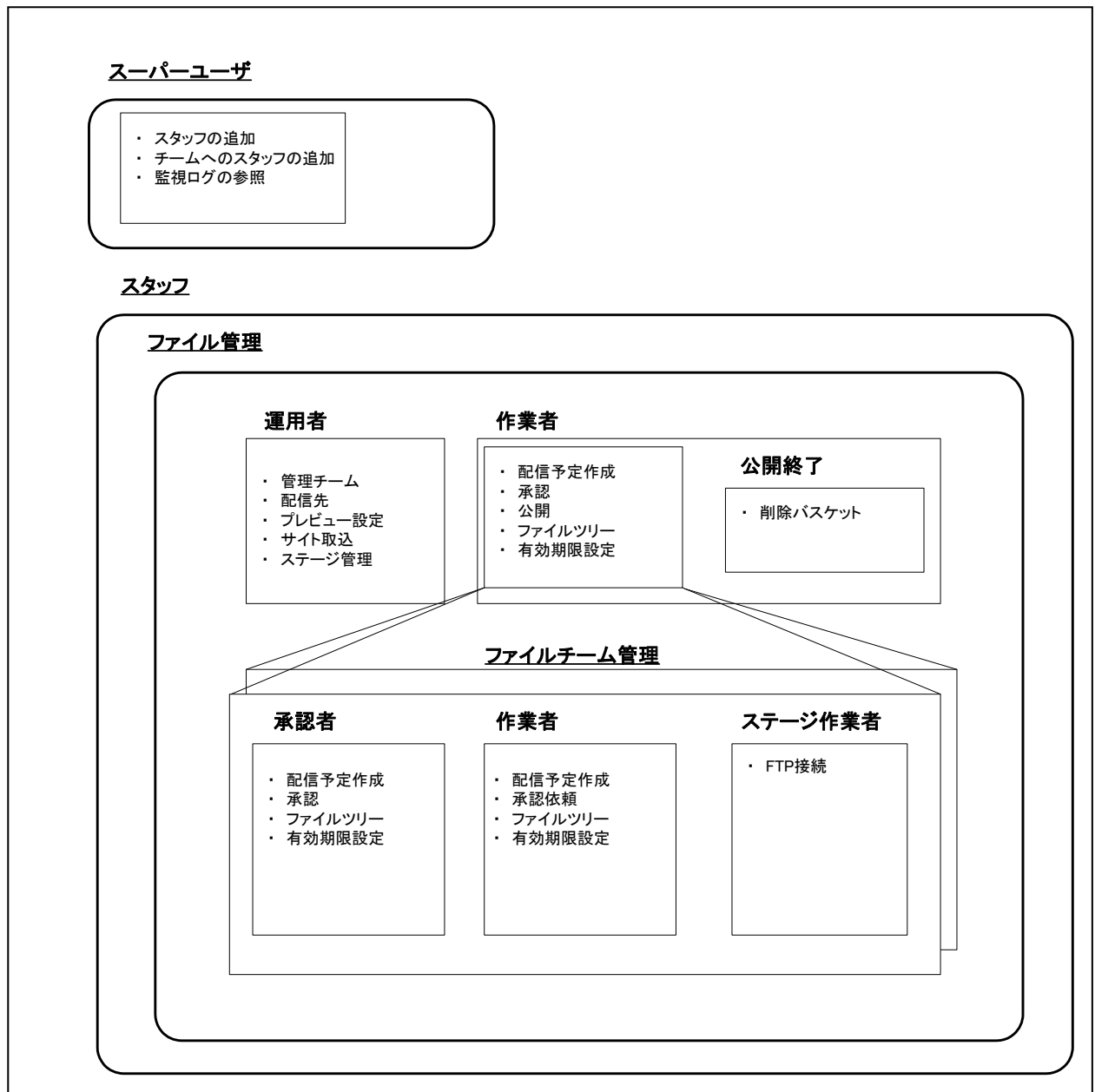
■ WEB 管理画面

WEB SPIRAL の管理を行うための画面です。スタッフの管理、配信の管理、履歴の参照など WEB SPIRAL の運用管理を行うことが出来ます。

■ 配信サービス

WEB 管理画面にて配信が承認され配信日時がスケジュールリングされたファイルの配信を行う機能です。

ユーザ権限について



ユーザの種類

スーパーユーザとスタッフ

■ スーパーユーザ

システム全体に関する管理を行うシステム管理者です。
スタッフの管理やシステムのログなどの管理を行います。

■ スタッフ

運用を行うための作業ユーザです。

『ファイル管理』を行うためには『チーム』にて『ファイル管理』チームのメンバーにスタッフを登録する必要があります。

ファイル管理スタッフ

■ 運用者

ファイル管理システムの管理を行うシステム管理者です。
初期導入や配信設定、チームなどの登録・操作履歴の確認などの管理を行います。

■ 作業者

ファイル管理システムの運用を行う作業者です。
サイトの運用を行うためにファイルのアップロード、本番サーバへの配信指示などを行います。

■ 公開終了

公開終了（本番サーバよりファイルの削除）を行うことが出来ます。
この作業者は、ファイル管理（作業者）であることが必要です。

ファイルチーム管理スタッフ

■ 承認者

ファイルの配信指示を行うことが出来るスタッフです。

■ 作業者

ファイルの配信指示を行うことが出来ず、ファイルの配信をするために承認者に対して「承認依頼」を行い配信する必要があります。

■ ステージ作業者

WEB SPIRAL FTP SERVER へ接続できるスタッフです。接続する ID とパスワードはそのスタッフの ID とパスワードで接続することが出来ます。

ディレクトリ・ファイル構成

インストールされているディレクトリは\$WS_HOME と記述します。

ミドルウェア用ファイル

HTTPD(Apache)

ディレクトリ・ファイル名	備考
/etc/httpd/conf.d	HTTPD(Apache)設定ファイルを格納するディレクトリ
webspiral.conf	WEB 管理画面設定ファイル
webspiral_stage.conf	ステージサイト設定ファイル
webspiral_preview.conf	プレビューサイト設定ファイル

配信サービス設定

ディレクトリ・ファイル名	備考
/etc/xinetd.d	Xinetd のサービスドキュメント
ndtask	配信サービス

WEB SPIRAL FTP SERVER

ディレクトリ・ファイル名	備考
/etc/init.d	デーモン起動・停止スクリプトディレクトリ
webspiral	WEB SPIRAL FTP SERVER 起動・停止スクリプト

PHP

ディレクトリ・ファイル名	備考
/etc/php.d	PHP の設定ファイルディレクトリ
Ioncube_loader.ini	IonCube Loader のエクステンションモジュール設定

共通ディレクトリ

\$WS_HOME

ディレクトリ・ファイル名	備考
admin/	WEBSPIRAL の管理ディレクトリ 設定ファイル、ライブラリ、実行ファイルなどのファイルが存在します。 .htaccess などにより外部から参照されないように設定を行ってください。 (デフォルトでは参照できません)
bin/	WEB SPIRAL で使用する実行ファイルのディレクトリです。
cache/	HTML ファイルがキャッシュされファイルとして格納されるディレクトリです。
lib/	本システム にて使用するライブラリ
logs/	本システム のログファイルがデフォルトで保存されるディレクトリです。設定ファイル「ログ」にて変更することが出来ます。
templates/	本システム にて共通で使用する HTML テンプレートです。
.htaccess	このディレクトリ以下が参照できないよう設定されております。
.pswd	スーパーユーザのパスワードファイルです。 設定ファイル「ログ」にて変更することが出来ます。
config.ini	設定ファイルです。(インストール時に作成されます)
img/	イメージディレクトリ

システム設定

\$WS_HOME/plathome

ディレクトリ・ファイル名		備考
templates/		本システム設定の HTML テンプレートディレクトリ
	PH_XXXX.template.html	テンプレートファイル
	menu.xml	WEB SPIRAL 設定のサイドメニュー定義ファイル
index.php		WEB SPIRAL 設定メインスクリプト

マイページ

\$WS_HOME/staff

ディレクトリ・ファイル名		備考
templates/		マイページ HTML テンプレートディレクトリ
	SF_XXXX.template.html	テンプレートファイル
	menu.xml	ユーザ設定のサイドメニュー定義ファイル
	message.ini	エラー等のメッセージファイル
index.php		メッセージ関連操作スクリプト
edit.php		ユーザ情報変更スクリプト

ファイル管理

`$WS_HOME/admin/lib/`

ディレクトリ名・ファイル名		備考
filemg/		WEB SPIRAL 共通ライブラリディレクトリ
interface/		WEB SPIRAL 共通ライブラリディレクトリ

制御コマンド

`$WS_HOME/admin/bin`

ディレクトリ名・ファイル名		備考
fl4clean		ファイルリポジトリのメンテナンスコマンド
fl4clean_basket		配信管理データメンテナンスコマンド

画面制御

`$WS_HOME/filemg`

ディレクトリ名・ファイル名		備考
templates/		管理画面 HTML テンプレート
	FM_XXXX.template.html	テンプレートファイル
	menu.xml	管理画面サイドメニュー定義ファイル
	message.ini	エラー等のメッセージファイル
*.php		画面制御スクリプト

WEB SPIRAL FTP SERVER

`/usr/webspiral`

ディレクトリ名・ファイル名		備考
bin		Proftpd のツールコマンド
filemg		WEB SPIRAL 拡張ファイルディレクトリ
etc	proftpd.conf	設定ファイル
logs		ログファイルディレクトリ
man		Proftpd マニュアルファイル
sbin		実行ファイル

環境設定

WEB SPIRAL 設定システムファイルについて

WEB SPIRAL では下記のシステムファイルがあります。

- 1) WEB SPIRAL 管理・設定ファイル
(管理画面・ステージ管理)
- 2) WEB SPIRAL 配信サービス設定ファイル
- 3) WEB SPIRAL FTP SERVER 設定ファイル

WEB SPIRAL 管理・設定ファイル

WEB SPIRAL では設定ファイルにより基本的な動作を変更することが可能です。

設定ファイルは

```
/var/www/html/webspirals/admin/config.ini
```

にあります。

フォーマット形式

WEB SPIRAL では、設定ファイルを下記のような `php.ini` フォーマット形式により管理しています。

例)

```
[GLOBALS]
```

```
dsn = mysql://mysqladmin:password@localhost/dbname
```

上記例では、グループ `GLOBALS` に属する `dsn` の値が設定されています。

システム設定

WEB SPIRAL 管理画面ログの出力先、ファイル名などを下記の設定により変更が行えます。

[GLOBALS]

- log_level
- log_file
- log_date

によりログの設定を行うことが出来ます。

項目名	説明
log_level	ログの出力レベルを設定します。 通常では3を設定してください。出力レベルは値が大きいほど出力が抑制されます。エラー情報はレベル9にて出力され、すべてのデバッグ情報は-1にて出力することが可能です。
log_file	ログファイルの出力先を指定します。 相対パスにて記述したときには /var/www/html/webspirals/admin/以下がカレントディレクトリになります。 ディレクトリは自動で作成はされませんので、事前に作成してください。
log_date	ログ出力を日時別にファイルを変更します。 php の date 関数にて使用できるフォーマットが指定できます。

スーパーユーザのログイン設定

スーパーユーザとは WEB SPIRAL をインストールしたときに初期で使用できるユーザです。スーパーユーザは各サービスは使用できませんが、利用する実スタッフの登録・削除・変更ができます。ただし、管理者のユーザ ID はセキュリティ上を考慮し、変更を行うようにしてください。

[GLOBALS]

- super_user
- super_password

項目名	説明
super_user	管理者アカウント名 (デフォルト root)
super_password	管理者のパスワード保存ファイル 暗号化され、復号できないフォーマットにて保存されています。 デフォルトは “.pswd” です。

ログイン後のデフォルトページ

[GLOBALS]

- forward_url

項目名	説明
forward_url	ログイン後に表示するページ遷移の設定です。 必ず、/webspiral からの相対で記述してください。

ロゴ画像の変更

ログイン時のロゴ画像と、ログイン後のロゴ画像を変更することができます。

変更する画像はファイル名

ログイン時のロゴ画像 : loginlogo.gif

ログイン後のロゴ画像 : logo.gif

にて用意を行い、/var/www/html/webspiral 以下に任意にディレクトリを作成し下記の設定を行ってください。

[GLOBALS]

- logo_img_path

項目名	説明
logo_img_path	<p>ログイン後に表示するページ遷移の設定です。</p> <p>必ず、/var/www/html/webspiral からの相対で記述してください。 例)</p> <p>logo_img_path = img/ext</p> <p>上記設定で、ロゴファイルを http://hostname/webspiral/img/ext/logo.gif を参照するようになります。</p>

共通 DB 設定

[GLOBALS]

- dsn

項目名	説明
dsn	<p>データベース接続先設定</p> <p>dbtype://username:password@hostname/dbname</p> <p>dbtype : データベースタイプ</p> <p>username : データベース接続アカウント名</p> <p>password : データベース接続アカウント名のパスワード</p> <p>hostname : データベースホスト名</p> <p>dbname : データベースインスタンス名</p>

作業依頼・承認依頼メール設定

承認依頼を行った際に、WEB SPIRAL のメッセージを E-Mail として送る機能です。

[GLOBALS]

- handover_mail
- handover_url
- editreq_mail
- work_url
- mail_template
- sender_uri
- mail_url_scheme

項目名	説明
handover_mail	承認依頼メール送信設定 0: 送らない 1: 送信する
handover_url	承認依頼メール要求URL 通常、変更する必要はありません。
editreq_mail	作業依頼メール送信設定 0: 送らない 1:送信する
work_url	作業依頼メール要求 URL 通常、変更する必要はありません。
mail_template	送信メールテンプレート
sender_uri	送信 SMTP 設定 smtp://localhost
mail_url_scheme	関連 URL で使用するスキーマ デフォルト http

ログイン認証設定

WEB SPIRAL へログインする際の認証タイプを変更する機能です。

※PHP の拡張モジュール ldap がが必要です。

[GLOBALS]

- login

項目名	説明
login	ログイン認証タイプ secure: セキュア認証 ldap: LDAP 認証

LDAP 認証は、LDAP サーバに関する以下の情報を設定する必要があります。

[AUTH_ldap]

- dsn
- rdn
- password
- base_dn
- column_uid
- column_undef
- column_mail

項目名	説明
dsn	ldap://hostname:port hostname : LDAP サーバホスト名 (デフォルト localhost) port : LDAP 接続ポート (デフォルト 389)
rdn	LDAP ディレクトリにバインドする root の DN 指定されない場合は、匿名(anonymous)でバインドします。
password	LDAP ディレクトリにバインドする root のパスワード
base_dn	LDAP ディレクトリにバインドする一般ユーザの基本 DN
column_uid	LDAP ディレクトリのユーザ ID カラム名 デフォルト sn
column_undef	LDAP ディレクトリのユーザ名カラム名 デフォルト cn
column_mail	LDAP ディレクトリのメールアドレスカラム名 デフォルト mail

ファイル管理 DB の設定

DB の設定では以下の 2 つの設定があります。

[FILEMG]

- set_dsn . . . サイトメタ情報 DB
- dsn . . . サイトデータ DB

項目名	説明
set_dsn	データベース接続先設定 dbtype://username:password@hostname/dbname dbtype : データベースタイプ username : データベース接続アカウント名 password : データベース接続アカウント名のパスワード hostname : データベースホスト名 dbname : データベースインスタンス名
dsn	データベース接続先設定 dbtype://username:password@hostname/dbname dbtype : データベースタイプ username : データベース接続アカウント名 password : データベース接続アカウント名のパスワード hostname : データベースホスト名 dbname : データベースインスタンス名

タイムプレビューの設定

WEB SPIRAL の WEB 画面からタイムプレビューをするための設定を行います。

[FILEMG]

- preview . . . プレビューURL
- index . . . ファイル名省略時のデフォルト設定
- default_charset . . . プレビューサイト文字コード

項目名	説明
preview	プレビュー時のURLを指定してください。
index	プレビュー時にファイル名を省略したときに、指定されたファイル名を補完します。 デフォルト (index.html)
default_charset	プレビュー時の文字コードを指定してください。 デフォルト (Shift_JIS) 例) default_charset = UTF-8

配信処理設定

WEB SPIRAL から配信を行うサービスへ接続するための指定を行います。

[FILEMG]

- ndtask_port . . . 配信サービスコネクションポート
- exts . . . ファイルリンク情報を取得する HTML ページの拡張子

項目名	説明
nstask_port	配信サービスとの通信に利用するポート番号 配信サービスは xinetd を利用します。
exts	ファイルリンク情報を取得するファイルの拡張子を指定します。 注意) HTML ファイルのみを指定するようにしてください。 配信時にファイルの内容を解析するために、プログラム等のファイルを指定すると正常に動作しません。

配信通知メール設定

WEB SPIRAL から配信を行うと、メールにて処理の通知を行います。

[FILEMG]

- deploy_mail_type ・・・送信タイプ
- deploy_mail_text ・・・送信メール内容テンプレートファイル
- deploy_mail_address ・・・送信メールアドレス

項目名	説明
deploy_mail_type	配信を行った際に送信するメールタイプを設定します。 0: 利用しない「デフォルト」 1: 配信するバスケットのチームに所属するスタッフ全員 2: ファイルマネージャを利用するスタッフ全員 3: 指定したメールアドレス
deploy_mail_text	deploy_mail_type が 0 以外の時に送信するメールのテンプレートファイルを指定します。
deploy_mail_address	deploy_mail_type が 3 の時に配信するメールアドレスの指定を行います。

ライフサイクルリマインダ設定

[FILEMG]

- lifecycle_mail_type ・・・送信タイプ
- lifecycle_mail_text ・・・送信メール内容テンプレートファイル
- lifecycle_from ・・・リマインダ **From** メールアドレス
- lifecycle_remind_days ・・・期限の指定された日数前に通知を行います
- lifecycle_remind_time ・・・リマインダメールの送信時刻
- lifecycle_mail_address ・・・送信メールアドレス

項目名	説明
lifecycle_mail_type	送信タイプ 0：利用しない（デフォルト） 1：ファイルマネージャを利用するスタッフ全員 2：ファイルマネージャを利用する公開終了権限を持つスタッフ全員 3：任意の複数メールアドレス（カンマ区切り）
lifecycle_mail_text	lifecycle_mail_type が 0 以外の時に送信するメールのテンプレートファイルを指定します。
lifecycle_from	リマインダメールの送信元となるメールアドレス
lifecycle_remind_days	リマインダ日数（デフォルトは 3 日前）
lifecycle_remind_time	リマインダメールの送信時間（デフォルト：10:00）
lifecycle_mail_address	lifecycle_mail_address が 3 の時に配信するメールアドレスの指定を行います。 カンマ区切りにより複数指定することが可能です。

ステージサイト設定

[FILEMG]

- create_root ……ステージサイトのパス
- stage_preview ……ステージサイトのファイルをプレビューするときの URL

項目名	説明
create_root	ステージサイトのルートディレクトリをフルパスで設定します。サイト取り込みや、FTP でファイルをアップロードするときの起点ディレクトリになります。
stage_preview	ステージサイトにあるファイルをプレビューする際に用いる WEB サーバの URL を設定します。

セキュアな通信による配信の設定

[FILEMG]

- deploy_schema ……sftp にて配信を行う定義。

項目名	説明
deploy_schema	sftp にて動作させるためには、この値を「ssh2」に設定します。ただしこの設定を有効にするためには、別途 PHP の設定も必要となります。(導入の手引きを参照。)

WEB SPIRAL 配信サービス 設定ファイル

WEB SPIRAL 配信サービスでは設定ファイルにより基本的な動作を変更することが可能です。

設定ファイルは

```
/var/www/webspiral/data/NDTask/config.ini
```

にあります。

フォーマット形式

WEB SPIRAL 配信サービスでは、設定ファイルを下記のような `php.ini` フォーマット形式により管理しています。

例)

```
log_dir = /var/log
```

- `log_dir` . . . ログファイルの場所を指定します。

項目名	説明
log_dir	ログファイルのディレクトリを指定します。 デフォルト /var/www/webspiral/data

WEB SPIRAL FTP SERVER 設定ファイル

WEB SPIRAL FTP SERVER では設定ファイルにより基本的な動作を変更することが可能です。

設定ファイルは

```
/usr/webspiral/etc/proftpd.conf
```

にあります。

フォーマット形式

WEB SPIRAL FTP SERVER では、以下のフォーマット形式により管理しています。

例)

MaxInstances	30
---------------------	-----------

上記例では、接続上件数を 30 に設定されております。

基本設定

- Port . . . 接続ポート番号
- MaxInstances . . . 同時接続数
- User . . . 起動ユーザ
- Group . . . 起動グループ
- SystemLog . . . システムログファイル
- TransferLog . . . ファイル送信ログ

項目名	説明
Port	接続ポート番号 デフォルト 21
MaxInstances	FTP クライアントから同時に接続できる数 デフォルト 30
User	起動ユーザ デフォルト apache
Group	起動グループ デフォルト apache
SystemLog	システムログ デフォルト /usr/webspirial/logs/proftpd.syslog
TransferLog	ファイル送信ログ デフォルト /usr/webspirial/logs/proftpd.xferlog

ステージ管理設定

<Global>

- SQLConnectInfo . . . WEB SPIRAL へのファイル管理 DB 接続情報
- SQLLogFile . . . ステージへの接続ログファイル
- FilemgFtpConfigFile . . . WEB SPIRAL 管理設定ファイルのパス
- ContributeDirs . . . 不使用（旧バージョンとの互換性を保つための項目）
- ContributeFiles . . . 不使用（旧バージョンとの互換性を保つための項目）

項目名	説明
SQLConnectInfo	WEB SPIRAL へのファイル管理 DB 接続情報 デフォルト 00file@localhost mysqladmin mysqladmin 説明 [DB 名称]@[ホスト名] [接続ユーザ名] [接続パスワード]
SQLLogFile	ステージへの接続ログファイル デフォルト /usr/webspirall/logs/filemg.log
FilemgFtpConfigFile	WEB SPIRAL 管理設定ファイルへのパス デフォルト /var/www/html/webspirall/admin/config.ini
ContributeDirs	不使用（旧バージョンとの互換性を保つための項目）
ContributeFiles	不使用（旧バージョンとの互換性を保つための項目）

通信設定

<Global>

- TimeoutIdle ・・・ログイン後、無通信状態でタイムアウトになるまでの時間
- TimeoutNoTransfer ・・・サーバーとクライアント間で何も通信が無い状態でタイムアウトになるまでの時間
- MaxStoreFileSize ・・・アップロードするファイルサイズの最大値を指定する

項目名	説明
TimeoutIdle	ログイン後、無通信状態でタイムアウトになるまでの時間 デフォルト 300 (秒)
TimeoutNoTransfer	サーバーとクライアント間で何も通信が無い状態でタイムアウトになるまでの時間 デフォルト 300 (秒)
MaxStoreFileSize	アップロードするファイルサイズの最大値を指定する 例) MaxStoreFileSize 100Mb

その他

注意事項

上記設定により説明を行っていない設定についてはシステムにて使用している変更不可項目です。
必ず変更を行わないようにしてください。

WEB SPIRAL 配信サービスログ

WEB SPIRAL 配信サービスログは配信予約、配信実行処理、サイト取り込みがされたときに出力されるアプリケーションログです。

このログから配信時の環境設定の間違いや、アプリケーション障害、その他、ログのレベルにより動作ログ等が表示され、問題解決時に利用することが出来ます。

ファイル)

```
/var/www/webspiral/data/ndtask_server_XX.log
```

出力例)

```
8a836b09a15bc822ce5d5124fb764065 - [21:20:15] - [3] - [connect ftp server xxx.yyy.zzz] -  
/var/www/html/webspiral/admin/lib/filemg/FMDeploy.class.php - 285
```

フォーマット)

```
機能識別子 - 時間 - [ログレベル] - [メッセージ] - [メッセージプログラム] - [プログラムライン]  
| [INFO] 追加情報
```

名称	説明
機能識別子	配信処理毎にユニークな ID が発行されます
時間	ログ記述時刻が出力されます
ログレベル	ログレベルは -1 ~ 9 までとなります。(デフォルト 3) レベルが大きくなるほど重要度が高く、9 の場合にはシステムの障害レベルとなります。
メッセージ	ログのメッセージが出力されます
メッセージプログラム	ログを出力している処理プログラムが出力されます
プログラムライン	ログを出力しているプログラムのライン NO が出力されます
追加情報	追加情報にはシステムからのメッセージが出力されます

データのバックアップとリストア

MySQL をご利用の場合

バックアップ方法

バックアップは以下のコマンドにより取得することが出来ます。

```
/var/webspirial/mysql/backup.sh [データベース名]
```

バックアップのファイルは /var/webspirial/mysql/backup に出力されます。

バックアップ手順)

```
#cd /var/webspirial/mysql/  
#./backup.sh 00plathome  
#./backup.sh 00file  
#./backup.sh 00file_master
```

リストア方法

リストアはバックアップしたファイルより以下のコマンドで行うことが出来ます。

```
/var/webspirial/mysql/restore.sh [データベース名] [バックアップファイル]
```

バックアップ手順)

```
#cd /var/webspirial/mysql/  
./restore.sh 00plathome /var/webspirial/backup/00plathome.20051201.dump.gz  
./restore.sh 00file /var/webspirial/backup/00file.20051201.dump.gz  
./restore.sh 00file_master /var/webspirial/backup/00file_master.20051201.dump.gz
```

DB を止めてバックアップ・リストアする場合

以下のディレクトリを保存してください。

```
/var/lib/mysql/00plathome  
/var/lib/mysql/00file  
/var/lib/mysql/00file_master
```

バックアップ手順

```
#!/etc/init.d/mysqld stop  
#cd /var/lib/mysql  
#tar cvfz /var/webspiral/backup/webspiral_db.tar.gz 00plathome 00file 00file_master
```

リストア手順

```
#!/etc/init.d/mysql stop  
#cd /var/lib/mysql  
#tar xvfz /var/webspiral/backup/webspiral_db.tar.gz
```